# ㈳日本詩人クラブ　2019年 3月　例会のご案内

**日時**　2019年3月9日㈯ 14時～17時

**会場**　成蹊大学6号館301教室　　無料

＊例会終了後、交流会を予定（成蹊大学6号館地下・カフェ＆ホールCOMMichi）会費3,000円

**詩朗読＆スピーチ**

安藤一宏氏（甲斐市）　星野　博氏（立川市）
神尾加代子氏（松戸市）　森下万壽氏（市川市）
根本正午氏（成田市）　前田嘉代子氏（三鷹市）

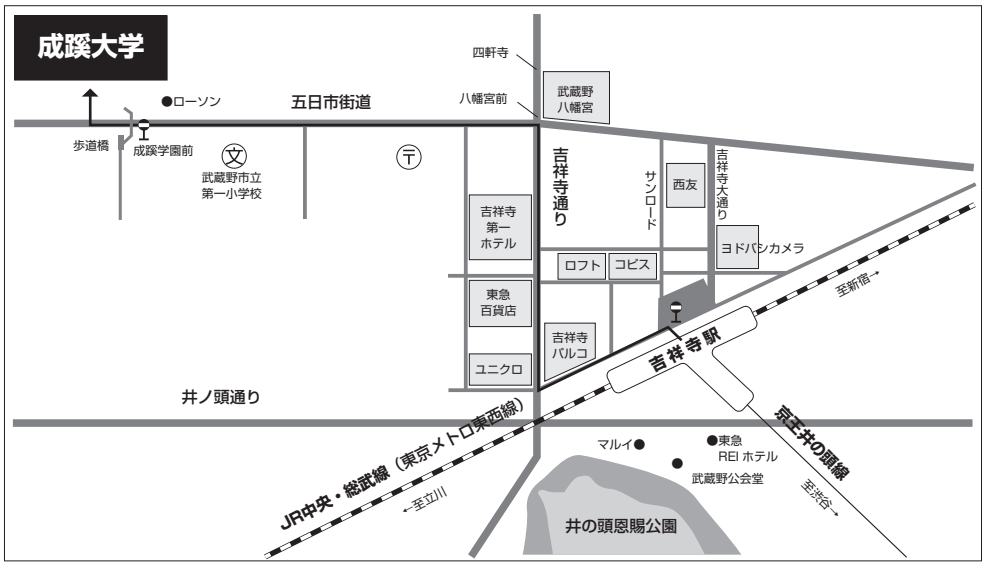
## 講演「詩の擁護」

講師 **日比野啓氏**

★日比野　啓（ひびの　けい）氏略歴

東京大学大学院人文科学系研究科英語英米文学専攻博士課程、ニューヨーク市立大学大学院演劇学科博士課程修了。東京大学大学院地域文化助手、成蹊大学文学部講師・准教授を経て、現在成蹊大学文学部教授。専門は演劇学、アメリカ文学。主な著書に、『アメリカン・ミュージカルとその時代』（彩流社、2018年、近刊、単著）、『アメリカ文化事典』（丸善出版、2018年、項目執筆）、『戦後ミュージカルの展開』（森話社、2017年、編著）、『文化現象としての恋愛とイデオロギー』（風間書房、2017年、共著）、『演劇のジャポニスム』（森話社、2017年、共著）、『世界人名大辞典』（岩波書店、2013年、項目執筆）他。

昨今の文系学部廃止論や実学重視の傾向などを見聞きするにつけ、現在の日本ほど文藝についての研究や教育がないがしろにされている時代はないだろうとも思えますが、歴史を繙けば、「詩」は折あるごとに迫害され、無用物扱いされていたことがわかります。フィリップ・シドニー卿の『詩の擁護（The Defence of Poesy）』を参照しながら、文藝の「効用」を説くことはできるのか、あるいはそもそも詩に効用はあるのか、といったことをみなさんとともに考えていきたいと思います。




〒180－0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町３丁目３－１　　☎0422－37－3531

●JR中央線・総武線(東京メトロ東西線)・京王井の頭線【吉祥寺駅】下車
　吉祥寺駅より徒歩約15分
　吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より 関東バス約5分『成蹊学園前』下車
●西武新宿線【西武柳沢駅】下車
　西武柳沢駅南口より 関東バス（吉祥寺駅行）約15分『成蹊学園前』下車

成蹊大学『文学部学会』　一般社団法人 日本詩人クラブ　共催

例会担当理事　谷口典子